

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 鶴見大学歯学部名誉教授 福島 俊士
2. 演題 咬合時の下顎位とその記録(第2報)
3. 日時 平成24年5月31日(木)
17時00分 ~ 18時30分
4. 場所 歯学部特別講堂(歯科棟南4階)
5. 内容

健常有歯顎者では、歯列と顎関節と咀嚼筋(と中枢神経系)がよく調和し、上顎歯列と下顎歯列が咬頭嵌合位的位置関係にあるとき、下顎頭は下顎窩内の顎頭安定位にあるとされる。しかし、歯列の咬頭嵌合が失われ、下顎頭の変形が進行したとき、上記の調和はどのように保たれるのであろうか?

今回は、下顎頭の変形が著しく進行した症例について、その経過を長期的に追うことで、咀嚼を主とする口腔の機能が下顎頭の形態的な安定を欠いた環境でどのように保たれるのかをお示しすることにした。また、こうした症例で、下顎窩内に占める下顎頭位の決定を咬合再構成における最優先事項とすることの妥当性を問うことにしたい。

連絡先 摂食機能保存学分野 三浦 宏之(岡田 大蔵)(内線 5521)